

平成29年度 年間授業計画

都立竹早高等学校

教科	英語	科目	英語表現I	学年	1
担当者	仁ノ平 増田 中川			単位数	2
使用教科書	Vision Quest English Expression I Advanced (啓林館)				
使用教材	総合英語 Ultimate(啓林館) 入門英文解釈の技術70(桐原書店) Vision Quest 47 English Grammar (啓林館) Vision Quest 47 English Grammar WORKBOOK(啓林館)				
教科・科目の指導目標	①文法形式や機能を習得する。②必要な場面で適切な文法形式を用いて表現できる。③学んだ文法知識を活用して基本的英文を聞いたり、読んだり、話したりすることができる。④形式に沿って自己の表現したい内容を相手に伝わる英語と内容構成で表現できる。				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5月	1学期中間考査	Vision Quest 47 L1-2 Vision Quest Advanced L1 Vision Quest 47 L3-4 Vision Quest Advanced L2 Vision Quest 47 L5-6 Vision Quest Advanced L3 Vision Quest 47 L7-8 Vision Quest Advanced L4 Vision Quest 47 L9-10 Vision Quest Advanced L5	文の種類・文型と動詞①を理解し、使い分けできる。 紹介に関する言語活動を積極的に行う。 文型と動詞②・時制①を理解できる。 興味・関心を述べる活動を行うことができる。 時制②・完了形①を理解できる。 旅行に関する言語活動を行うことができる。 完了形②・助動詞① スポーツに関する言語活動完了形・友人についての言語活動 助動詞②・助動詞③を理解できる。 食事に関する言語活動を行うことができる。	12
6月7月	1学期期末考査	Vision Quest 47 L11-12 Vision Quest Advanced L6 Vision Quest 47 L13-15 Vision Quest Advanced L7 Vision Quest 47 L16-18 Vision Quest Advanced L8 Vision Quest 47 L19-20 Vision Quest Advanced L9 Vision Quest 47 L21	受動態①・受動態②を理解できる。 観光に関する言語活動を行うことができる。 不定詞①・不定詞②・不定詞③を理解できる。 交際に関わる言語活動を行うことができる。 不定詞④・動名詞①・動名詞②を理解できる。 娯楽に関する言語活動を行うことができる。 分詞①・分詞②を理解できる。 ルールに関する言語活動ができる。 関係詞①を理解ができる。	8
7月10月	2学期中間考査	Vision Quest 47 L22-23 Vision Quest Advanced L10 Vision Quest 47 L24-25 Vision Quest Advanced L11 Vision Quest 47 L26-28 Vision Quest Advanced L12 Vision Quest 47 L29-30 Vision Quest Advanced L12 Vision Quest 47 L31-33	関係詞②・関係詞③を理解できる。 文化に関する言語活動を行うことができる。 関係詞④・比較①を理解できる。 社会問題に関する言語活動を行うことができる。 比較②・比較③・仮定法①を理解できる。 悩み事を述べる言語活動を行うことができる。 仮定法②・仮定法③を理解できる。 悩み事を述べる言語活動を行うことができる。 否定①・否定②・強調・倒置を理解できる。	12
10月12月	2学期期末考査	Vision Quest 47 L34-38 Vision Quest 47 L39-40 Vision Quest Advanced L10	挿入・省略・同格・無生物主語・名詞構文 話法・接続詞①・接続詞②・前置詞①を理解できる。 前置詞①・前置詞②を理解できる。 2学期総復習 期末考査に向けての総復習	11
12月3月	学年末考査	Vision Quest 47 L41-42 Vision Quest Advanced Vision Quest 47 L43-44 Vision Quest Advanced Vision Quest 47 L45-46 Vision Quest Advanced Vision Quest 47 L47	疑問詞・名詞を理解できる。 否定表現を使用した言語活動を行うことができる。 冠詞・代名詞①を理解できる。 接続詞を使用した言語活動を行うことができる。 代名詞②を使い分けられることができる。 要点・要約を書く手順の学習・実践で、要約ができる。 副詞を理解できる。	13

評価の観点・方法	定期考査・小テスト・課題提出・授業での言語活動等を総合的に評価する。
----------	------------------------------------